

ジャーナリスト

重信メイ

●収録日時：2001年 ●ゲスト：ジョセフ・ケン



元日本赤軍のリーダー重信房子氏の娘として、
東で暮らした壮絶な体験をお聞きしました。

■司会 長い間アラブ諸国にいらした重信さん、日本にはいつ?

■重信 きっかけは11月8日に母が逮捕された事ですが、私の国籍が3月に日本人として認められたので、4月3日に日本に帰って来る事ができました。アラブの中で育ちましたが、心の中では日本人だという気持ちでした。日本国籍が取れた時は、信じられないくらい嬉しかったです。

■司会 子供の頃、学校は?

■重信 パレスチナの学校を転々としていました。算数や理科から、社会的な事を学ぶ教科まであります。パレスチナ問題を教えるクラスもありました。

■光永 日本語がお上手ですが、お母様に教わったのですか?

■重信 小さい頃はずっと日本語でした。学校や近所ではアラビア語、レバノンの学校では主に英語や仏語で教えられて、同時にアラビア語も使う、という様子でした。大学では政治と国の管理 (public administration) で色々な国の体制を学び、大学院では国際関連、それ以外の大学でジャーナリズムを学びました。週末は映画など、遊びに行きますが、2つの大学に通っていた時は、とにかく時間がなかったです。

■光永 随分イメージが違います。軍事訓練などしましたか?

■重信 戦争の中で生きる子供なので、体は鍛えていました。

■司会 いつ頃、お母様が日本赤軍のリーダーだと?

■重信 小さい頃から周りの大人の雰囲気を知っていました。友人も近所の人からも特別扱いされていて、一緒に戦ってくれた日本人として、とても良くしてくれました。料理のお裾分けや困ったらずぐに助けてくれるのは、元々アラブの文化でもあります。

国籍はなく身分証明書も本名ではなかった

■司会 日本に来るまで、本名を名乗った事も、呼ばれた事もないと伺いましたが。

■重信 母の同志の子供たちとも兄弟のように育ちましたが、日本赤軍が住んでいるという噂だけでも危ない事になります。イスラエルに狙われる可能性もあるし、子供を誘拐して母を連れ出す事を考える人もいます。

私は生まれた時に大使館に届けていないので、どの国にも存在しておらず、パスポートも身分証明書も、本当の名前ではありません。国籍も今年の3月5日

までなかったのです。

■司会 お母様の生き方について、どう思われますか?

■重信 色々な意見や、30年前と違う事もあると思いますが、生き方として、何かを信じて人間を大事にして、弾圧を受けている人を助けるべきだと感じたなら、人任せにせず、自分が行うという気持ちですごく尊敬しています。

■司会 9・11の同時多発テロについて、どう感じましたか?

■重信 無差別に人命が奪われた事が大変ショックです。同時にパレスチナ人は毎日のように死んでいます。考えなければならぬのは、武器やお金でイスラエルを支えたり、アメリカ政府が敵を作ってきたという事。テロは悪い事ですが、憎しみの対象はアメリカ政府に対してであり、市民に向けてはならないと思います。

■司会 パキスタンなどでボランティア活動をされているジョセフさんは、テロ後のアメリカ社会について、どう思いますか?

■ジョセフ 初めてアメリカが紛争に巻き込まれ、死者が出る経験をした事には意味があると感じます。どの国でも自分の息子

が死んだら悲しいのです。アメリカ社会は悪い方に変わる、警察国家に拍車がかかると感じます。

日本で知られていない事を伝えていきたい

■司会 自衛隊派遣や後方支援をする日本を、どう思いますか?

■重信 わざわざ争いに入っていく必要はないと思います。憲法9条を、なぜ大事にできないのでしょうか。認められたいと思うなら、憲法を大事にして新しいパラダイムを作り、ユニークな国として、素晴らしいイデオロギーを伝えていけば良いと思います。

■司会 将来の夢は?

■重信 私の経験を日本の方に伝えたいと思います。また強い国だけでなく弱い国が、大きな国を訴える力を持つ国際法やシステムについて考えたいと思います。

■司会 日本の若者にひとこと。

■重信 日本人は豊かで平和の中に住んでいるけれど、安いものではない。意見を持って、自分の国だけのためではなく、人間のために動いていけば、世界も豊かになつていくと思います。



プロフィール

重信メイ しげのぶ めい

1973年レバノン、ベイルート生まれ。1997年ベイルート・アメリカン大学を卒業後、同大学国際政治学大学院に進学し、1998年からレバノン大学でジャーナリズムを学ぶ。28年間無国籍だったが、2001年に日本国籍を取得した。同年に初来日を果たし、2011年には同志社大学大学院社会学研究科メディア学を修了。

2002年より河合塾で英語の講師を務めながらAPF通信社に記者・リポーターとして在籍する。2009年からは中東放送センター (Middle East Broadcasting Center) の東京特派員も務める。

母は元日本赤軍のリーダー、重信房子氏で、父親はイスラエルと闘争中にミサイルで暗殺されたと言われるパレスチナ人活動家。